

薬用植物園だより

2023年

7月

じっくりと花を観察してみよう！発見がありますよ。 **キキョウ** (キキョウ科)



Platycodon grandiflorus A. De Candolle

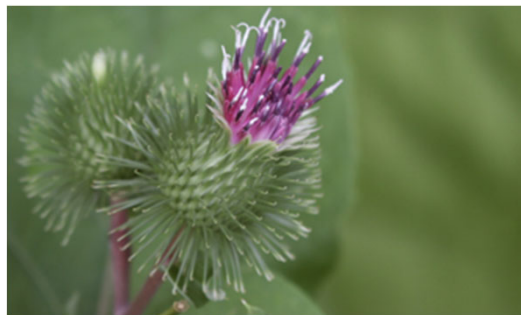
部位	根	
生薬名	桔梗根 (キキョウ)	局方収載
成分	プラチコジン D (サポニン)	
薬理	鎮咳去痰作用、抗炎症作用	
薬能	排膿薬、止咳平喘薬	
漢方	桔梗湯、十味敗毒湯、排膿散及湯	

東アジアに分布する多年草。日本でも日当たりの良い山地や原野で見られますが、環境の変化で野生では絶滅危惧種になっています。古来より観賞用でも栽培され、秋の季語や秋の七草のひとつですが花期は、梅雨頃から初秋頃までです。花は雄しべが初めに成熟し、その後雌しべが出て来ます。薬用部位は根です。そのままでは乾きにくいので、収穫後に周皮を取り除いて乾燥、調製されます。去痰薬や咽喉痛を治す漢方薬に配合されています。また、ニキビなどの治療によく使用される十味敗毒湯という漢方薬にも配合されています。一方、韓国では、食用として白花のキキョウを栽培し、その根をトラジと呼び、キムチなどに利用されます。また、この根には、デンプンではなくイヌリンが多いため、便秘改善にも良いと思われま

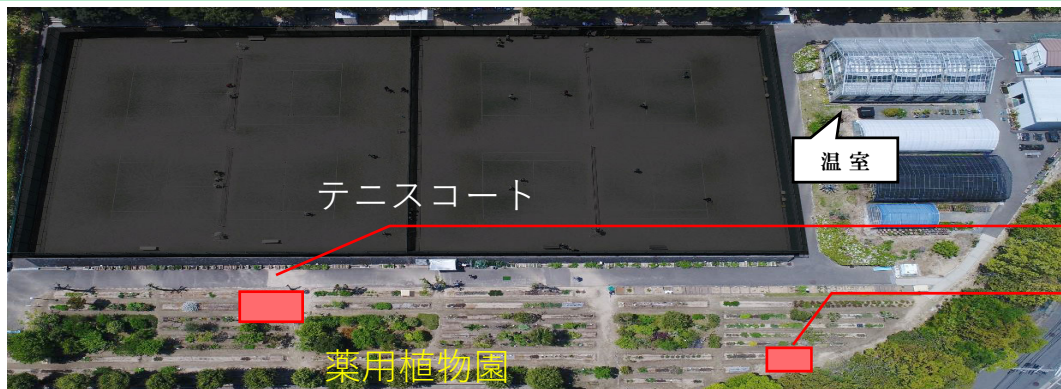
ゴボウ (キク科) **これがゴボウの花です。古くから薬用として利用されてきました！**

Arctium lappa Linné

部位	果実	
生薬名	牛蒡子 (ゴボウシ)	局方収載
成分	アルクチニン、アルクチゲニン (リグナン)	
薬理	抗炎症作用、利尿作用、抗腫瘍作用	
薬能	辛涼解表薬	
漢方	銀翹散、柴胡清肝湯、消風散	



ヨーロッパ、シベリア、中国原産の二年草。日本へは、平安時代に薬草として伝わったとされています。日本では食用が一般的ですが、海外では食べる文化は珍しいです。しかし、最近の日本食ブームで、海外のスーパーマーケットに並んでいるのを見かけます。その名前は「Gobo root (Burdock root)」でした。また、普段食べているのは一年目の根で、二年目の根は内部が空洞化になり、重さ約1キロにもなるのが京野菜の堀川ゴボウです。薬用部位は果実で、咽喉痛を伴う熱っぽいカゼや痒みの強い皮膚炎などに用いられる漢方薬に配合されています。民間薬としても使われますが、種苗用の種は、農薬が使用されているため、使用しないでください。



キキョウ

ゴボウ



ホームページでも
ご覧いただけます